

## 行政評価事務事業一覧

### 【まちづくりの目標4\_都市基盤・防災・防犯・消防】

#### 施策 4-1\_快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出

基本計画		事業番号	細事業名称
4-01-01	計画的な土地利用の推進	06198_01	地籍調査事業
4-01-01	計画的な土地利用の推進	08037_04	都市計画策定
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08049_01	公園整備事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08236_01	公園長寿命化対策事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08275_01	湧水空間整備事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08277_01	滝の宮公園リニューアル事業

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06198_01			
事業名(行目名称)		地籍調査事業費	細事業名	地籍調査事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	国土調査課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市域(調査対象面積)		数値	232.33Km <sup>2</sup>			
	手段(どうやって)	毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、一筆ごとの土地の境界を明確化する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地籍調査が行われることで、民間においては土地境界をめぐるトラブル防止や登記手続の簡素化・費用縮減、土地の有効活用が促進される。 行政においては各種公共事業の効率化やコスト縮減に寄与するとともに、公共物管理の適正化が図られるようになる。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		48,535	26,755	26,755	23,540	令和3年度補正予算による繰越明許費 57,400千円 ○報酬 3,086千円 ○職員手当等 560千円 ○共済費 354千円 ○旅費 51千円 ○需用費 471千円 ○役務費 539千円 ○委託料 20,294千円 ○使用料及び賃借料 1,090千円 ○負担金補助及び交付金 310千円		
財源	県・国支出金	29,944	9,532	9,532	9,293			
	地方債		0	0				
	その他	56	21	21	37			
	一般財源	18,535	17,202	17,202	14,210			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
事業進捗率(%) 調査換算面積÷調査対象面積			目標値	10.6	13	13.9	13.9	14.8
			実績	12.2	13.7	14.4	15.1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>昨年度からの継続となる久保田町一丁目・二丁目地区及び別子山保土野の一部第2地区並びに新規着手地区の八雲町地区、泉宮町地区及び別子山芋野の一部地区において計画通りに事業を実施し、順調に進捗している。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
<p>国・県の負担金もあることから第7次国土調査事業十箇年計画に基づいて、事業を継続していく。 新規地区として一宮町一丁目・二丁目地区及び別子山芋野の一部、成の一部地区に着手し、概況調査地区では宮西町、繁本町、田所町地区を予定している。 令和5年度予算での事業実施予定面積が減少するため、予算の方向は減少する。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>土地取引やインフラ整備の円滑化、防災・減災対策を推進するため、今後も事業を継続する必要がある。</p>								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08037_04		
事業名(行目名称)		都市計画策定費	細事業名	都市計画策定			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	上位計画に基づき、都市計画上の課題に対応した都市計画変更の手続きを行うため、必要な基礎調査、協議等を重ねてきた。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市長期総合計画(後期戦略プラン)、新居浜市都市計画マスタープランに示される本市の課題に対応した都市計画変更を行うことにより、まちづくりを計画的に進めて、適正かつ合理的な土地利用を実現することができる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		237	13,614	20,614	10,593	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 171千円</li> <li>○需用費 770千円</li> <li>○役務費 338千円</li> <li>○委託料 12,307千円</li> <li>○備品購入費 20千円</li> <li>○負担金補助及び交付金 8千円</li> </ul>	
財源	県・国支出金	0	0	3,500	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	237	13,614	17,114	10,593		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
都市計画決定(変更)案件数(件)		目標値	2	2	2	2	4
		実績	3	1	0	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
<p>計画策定、見直し等については、課題に対しての方向性を位置づけたものであるため、今後は、都市計画決定変更の手続きや事業実施に向けた検討を行う必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>目指すべき都市の将来像を構築していくためには、基本となる計画の策定・見直しが必要で有り、都市計画施設の実施においては、必要に応じて都市計画決定の変更を行う事となるため、今後も引き続き予算要求をしていく。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>都市計画の基本的な方針に基づいた個別計画の策定と、その計画に即した事業実施により、目指すべきまちづくりが実現していくので、今後においても、適時適切な計画の策定及び見直しを行う本事業は必要である。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08049_01			
事業名(行目名称)		公園整備事業	細事業名	公園整備事業				
総合 計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民全体	数値	118,521人				
	手 段 (どうやって)	維持管理状況の適正な把握(パトロール)による必要な業務の委託、維持補修及び施設更新、整備工事を行い、費用対効果を検証しながら、効率的な管理整備を行っていく。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	公園の適正な維持管理・補修整備を行い、都市緑化を推進し、市民に安全かつ快適なレクリエーションスペースを提供すると同時に健康増進や市民相互の交流の場の創出を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		97,481	91,788	91,788	92,261	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 96千円</li> <li>○需用費 8,200千円</li> <li>○役務費 400千円</li> <li>○委託料 76,490千円</li> <li>○使用料及び賃借料 500千円</li> <li>○工事請負費 5,880千円</li> <li>○原材料費 200千円</li> <li>○負担金補助及び交付金 22千円</li> </ul>		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	97,481	91,788	91,788	92,261			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
パトロール等による改善件数			目標値	600	600	600	600	600
			実績	641	637	295	521	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>一部分の公園緑地を除き、大部分の都市公園は開設から多くの年数が経過し、施設の老朽化が顕著である。また、樹木も大木となり、施設や植栽の適切な維持管理が欠かせない状況となっている。かつ、除草や施設改修の要望・苦情も多い。職員が直接対応することも増えており、優先度を勘案して事業を実施していく必要がある。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>公園利用者が快適に公園施設を利用できるように、今後も公園施設の維持管理に取り組む。そのため、本事業は有効性・必要性の高い事業である。樹木の管理や害虫の駆除などは専門知識が必要なため、継続して現状の予算を確保し、公園利用者の安全の確保に務める。今後も継続して滞りなく維持管理・点検・修繕業務を実施していく。また、山根公園、新居浜公園には指定管理者制度を導入しているが、効果や効率性について今後検証を行い、予算要求に反映していく必要がある。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>市民から公園の利用や整備について多数の要望や意見が寄せられており、安全・快適に公園施設を利用できるよう維持・管理について計画的かつ継続的に取り組んでいく必要がある。</p>								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08236_01		
事業名(行目名称)		公園長寿命化対策事業	細事業名	公園長寿命化対策事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	公園利用者	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	長寿命化計画を策定し、計画的に修繕・改築を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	長寿命化計画を策定し計画的な改築・修繕を行うことにより公園を安全で快適に利用できるようにする。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		22,731	28,220	28,220	18,749	○工事請負費 28,220千円 都市公園遊具等更新・補修	
財源	県・国支出金	0	10,000	10,000	5,304		
	地方債	19,700	12,400	12,400	8,900		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,031	5,820	5,820	4,545		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
公園に対する苦情件数(件) H30年度まで 公園施設の老朽化に関する苦情件数(件) R01年度			目標値	30	30	30	30
			実績	5	4	5	6
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
交付金対象施設は長寿命化計画に基づき更新補修を行っているが、交付金対象外施設について、積極的な更新を実施していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
I交付金対象工事については、前年度同様の予算規模となるが、交付金対象外工事については、公共施設等適正管理推進事業債の対象施設がないため縮小おなる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度については、遊具、照明灯、休養施設等の改修を実施し、安全安心で快適な公園利用を提供することができた、引き続き計画的に老朽化施設の改築・修繕を実施する。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08275_01		
事業名(行目名称)		湧水空間整備事業	細事業名	湧水空間整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	遊水地	数値	4			
	手段(どうやって)	地元関係者による整備検討委員会を開催し、整備計画を策定して計画的に整備を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	湧水池を整備することで地域の文化資源として快適に利用することができ、環境、まちづくり学習の場となる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 34,200千円 高柳公園整備	
経費		7,555	34,200	34,200	38,892		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	6,700	30,700	30,700	35,000		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	855	3,500	3,500	3,892		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
整備する遊水地の箇所数		目標値	2	2	1	1	0
		実績	2	2	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
高柳公園整備において、既存トイレ改修工事の発注が完了し、公園整備事業の実施にむけ準備を進めている。今後は、公園完成後の維持管理方法を含め、地元検討委員会との協議が必要となる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和4年度に高柳公園が完成するため、予算要望は行わない。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
令和4年度については、高柳公園の浸水階段やトイレ等を設置し、湧水の保全、環境学習の場としての、地域資源としての整備が完了した。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08277_01		
事業名(行目名称)		滝の宮公園リニューアル事業	細事業名 滝の宮公園リニューアル事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課 都市計画課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	滝の宮公園	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	公園リニューアルに係る測量設計及び工事の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	滝の宮公園について、少子高齢化や健康に対する意識の高まりなどの多様なニーズを踏まえ、安全かつ快適に公園施設を利用できるようにリニューアルを実施し、より一層市民に親しまれる憩いの場として復活させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		47,334	132,200	96,484	7,875	○職員手当等 1,500千円 ○需用費 700千円 ○工事請負費 130,000千円 花見広場、散策路整備	
財源	県・国支出金	23,008	65,000	39,000	3,115		
	地方債	19,200	60,400	51,400	3,100		
	その他	3,000	0	0	0		
	一般財源	2,126	6,800	6,084	1,660		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
公園利用者数		目標値	186000	190000	97000	194000	198000
		実績	186000	196000	98000	211000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
公園利用者の安全、利便性を確保するため、複数工事の同時施工ができないことによる、工事計画の遅延が生じているが、今後、綿密な工程、迂回路の調整を行い、是正していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
リニューアル計画に基づき予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度については、健康広場、日本庭園、園路舗装等の整備を実施し、利用者に安全かつ快適な空間を提供することができた。今後もリニューアル計画に基づき、整備を継続する。							